

【水の作文大賞】

おいしい米を食べ続けるために

熊本県 熊本県立玉名高等学校附属中学校 二年 元田 真菜

私のおじいちゃんは、農家で米を作っています。私は、おじいちゃんが作る米がおいしくて大好きです。そんなおいしい米をつくるには、大事なものがありません。それは「水」です。

基本的には、苗を育て始める五月から、落水する十月までは水をきらすことはできません。田植えしたあとは、朝早くから田んぼに水の確認、米の確認をしに毎日かかさず行きます。とても、大変だと思いますが、おいしい米を作るには、水が大事だと分かります。

さらに、おいしいお米をつくるには、水の質が大切です。水の質によつて米の味が変わります。きれいな水でつくる米はおいしくなります。

このように、おいしい米をつくるには水が大事だと分かりました。でも、きれいな水を保つことができないとおいしい米がつくれません。だから、私は三つのことに取り組みたいと思います。

一つ目は、私のおじいちゃんの稲作に使っている水は、菊池川からひいてきています。だから、川をきれいにするために、ごみ拾い活動に参加したり、河川敷で出たごみは持ち帰ろうと思います。そうすること、河川敷はきれいになり、川にごみが行かなくなると思います。

二つ目は、家庭内でできることで、洗たくや食器洗いの洗剤を適量で使うことです。汚れが多いものは、つい洗剤を多く使ってしまうがちですが、適量を使うようにしたいと思います。また、シャンプーやリンスも使いすぎないようにしたいと思います。私は、シャンプーやリンスをたくさん使ってしまうのでやめようと思いました。こうしたものは、生活排水として出るので、一番川を汚してしまいます。だからこそ、家族内での取り組みは大事だと思いました。

三つ目は、食べ物は食べきる。飲み物は飲みきる。です。私は、食

べ物は基本残さずに食べます。でも、量が多かったりして、残してしまふことがあります。「水をきれいに保つためにはどうすればよいか」と調べていたとき、食べ物は、水を汚す原因となることを知りました。特にみそ汁は、水を汚す原因となるそうです。だから、食べ物、食べれる量だけを作ろうと思いました。飲み物はというと、ペットボトルに入っているお茶やジュースを残してしまふことが多いです。ジュースなどには有機物が含まれています。なので飲み残して、排水口に流すと水が汚れてしまいます。私は、このことを知らなかったのだから、コップにつきながら、飲む量ずつ飲んでいこうと思います。

私は、おじいちゃんが作ったおいしい米をずっと食べていけるように、この三つのことに取り組んで、水を大事にしていこうと思います。